

## 1 労働災害発生状況<平成29年12月末現在>

平成29年(12月末時点速報)の死傷者数は421人で、対前年同期比11人(2.7%)増加しました。

### 主要業種別内訳(発生人数順)

業種	対前年同期比	
商業	79人	5人(6.8%)増
建設業	65人	7人(9.7%)減
製造業	57人	6人(9.5%)減
運輸交通業	55人	2人(3.8%)増
保健衛生業	35人	4人(12.9%)増
林業	14人	3人(17.6%)減

### 事故の型別(発生人数順)

事故の型	構成割合
転倒	135人(32.1%)
墜落・転落	71人(16.9%)
交通事故	38人(9.0%)
はさまれ・巻き込まれ	34人(8.1%)
動作の反動・無理な動作	35人(8.3%)
飛来・落下	25人(5.9%)

## 2 積雪・凍結による災害にご注意ください!

今冬も、11月末頃から、積雪・凍結のため足元が滑り転倒したことで、骨折などの負傷を負う災害が多発しております。

転倒災害といえども軽傷ばかりではなく、**骨折などの負傷が原因でそれまでの業務ができなくなったケース**や、12月には、**不幸にも頭部を負傷したことにより、死亡に至るケースも発生**しました。重大な結果に繋がる災害であるとの認識を労使で共有し、全員で防止対策に取り組む必要があります。

雪道での転倒防止対策の一環として、次の呼びかけをお願いいたします。

### ～あなたは雪道を歩くときに、何を履いていますか?～

出勤時・退勤時などに事業場の敷地内で足元が滑り、転倒し負傷する災害が多発しています。

通勤のときに、冬用の滑りにくい靴に履き替えるだけでも転倒災害防止に効果的です。

ただし、靴の耐滑性については、「濡れた床面では滑りにくいですが凍結路面では滑りやすいもの」など、様々なものがありますので、「凍結路面で滑りにくいもの」を選ぶよう注意しましょう。

また、履き替えが難しい場合は、市販の、靴に取り付ける滑り止め(取り外し可能なもの)も検討しましょう。

転倒災害はときに、生活に支障が出るような結果に繋がることがあります。気を付けるだけでは防ぐことができないことも多いので、賢く対策しましょう。